

2024年（令和6年） 研究業績

講座・研究室名： 医史学・医の人間学

所属長・責任者名： 坂井建雄

区分	番号	学位論文	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年； 巻（号）： ページ番号 , DOI	DOI	国際共同
英文原著	1		Ishii M, Kato K, Ichimura K, Sakai T: The three layered structure of orbicularis oris and buccinator complex with partial connection at the modiolus and partial direct continuation. Surg Rad Anat. 2024 May;46(5):649-657. doi: 10.1007/s00276-024-03354-5.	doi:10.1007/s00276-024-03354-5	
英文原著	2		Nagase M, Ando H, Beppu Y, Kurihara H, Oki S, Kubo F, Yamamoto K, Nagase T, Kaname S, Fukuhara H, Sakai T, Hirose S, Nakamura N: Glomerular endothelial cell receptor ADGRF5 and the integrity of the glomerular filtration barrier. J Am Soc Nephrol. 2024 Oct 1;35(10):1366-1380. doi: 10.1681/ASN.0000000000000427.	doi:10.1681/ASN.0000000000000427	
英文原著	3		Miyaki T, Honma N, Kawasaki Y, Kishi M, Yamaguchi J, Kakuta S, Shindo T, Sugiura M, Trejo JAO, Kaneda H, Omotehara T, Takechi M, Negishi-Koga T, Ishijima M, Aoto K, Iseki S, Kitamura K, Muto S, Amagasa M, Hotchi S, Ogura K, Shibata S, Sakai T, Suzuki Y, Ichimura K: Ultrastructural analysis of whole glomerulus using array tomography. J Cell Sci. 2024 Oct 15;137(20):jcs262154. doi: 10.1242/jcs.262154.	doi:10.1242/jcs.262154	
英文原著	4		T Sawai. Reappraisal of the etymology of tendo Achillis: Achilles, the aggressor or the sufferer?. Clin. Anat., 2024 Early Online.	doi:10.1002/ca.24217	
区分	番号	—	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年； 巻（号）： ページ番号 , DOI	DOI	国際共同
英文総説	1		Sakai T, Fukushima M: Manners of terminology and description in Galen's anatomy in the ancient Rome and their historical consequences up to the modern time. Anat Sci Int. 2024 Sep;99(4):348-356. doi: 10.1007/s12565-024-00768-4.	doi:10.1007/s12565-024-00768-4	
区分	番号	学位論文	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年； 巻（号）： ページ番号 , DOI	DOI	国際共同
和文原著	1		坂井建雄: パラケルススとその著作、および初期パラケルスス主義者の医学史—刊本の書誌調査による研究. 日本医史学雑誌. 2024 Dec; 70(4): 377-402.	—	
和文原著	2		澤井直, ヴェサリウスが使用する身体体部・部位用語の参照源, 日本医史学雑誌, 2024; 70(1): 3-25	—	
区分	番号	—	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年； 巻（号）： ページ番号 , DOI	DOI	国際共同
和文総説	1		坂井建雄: 我が国の人体解剖と献体の歴史. 解剖学雑誌. 2024 Sep; 99: 62-71.	—	
和文総説	2		坂井建雄: ロンドレRondelet, Guillaumeの医学実地書『人体全疾患治療法Methodus curandorum omnium morborum corporis humani』（1567）. 日本医史学雑誌, 2024 Dec; 70(4): 412-415.	—	
区分	番号	—	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年； 巻（号）： ページ番号 , DOI	DOI	国際共同
和文症例報告	1		坂井建雄, 岡田隆夫, 宇賀貴紀: 2024年版『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック. 医学書院, 2024 Jan, 136 pp.	—	
和文症例報告	2		坂井建雄, 小林靖, 宇賀貴紀: 構造と機能がつながる神経解剖生理学. 医学書院, 2024 Nov, 280 pp.	—	
和文症例報告	3		坂井建雄, 川上速人, 竹田扇 (監訳): ジュンケイラ組織学. 第6版（原書16版）. 丸善出版, 2024 Jan, 616 pp.	—	

和文症例報告	4		坂井建雄 (監修): マコト★カガク研究団 人体. ニュートンプレス, 2024 Jan, 144 pp.	–	
和文症例報告	5		佐藤達夫, 坂井建雄 (監訳): 臨床のための解剖学 第3版. メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2024 Mar, 1168 pp.	–	
和文症例報告	6		坂井建雄 (監修): ニュートン超図解新書 最強に面白い 人体 取扱説明書編. ニュートンプレス, 2024 Apr, 200 pp.	–	
和文症例報告	7		坂井建雄 (監修): 不思議だから面白い人体 (TJMOOK) ムック. 宝島社, 2024 Apr, 48 pp.	–	
和文症例報告	8		坂井建雄 (監修): ざんねんな人体: もはや“無意味な臓器”から、進化の不思議がわかる! (知的生きかた文庫). 三笠書房, 2024 Jun, 232 pp.	–	
和文症例報告	9		坂井建雄 (監修): カラダのひみつをのぞいてみよう! すごい人体の図鑑. ナツメ社, 2024 Jul, 224 pp.	–	
和文症例報告	10		坂井建雄 (監修): 図だけでわかる! 人体. ニュートンプレス, 2024 Jul, 96 pp.	–	
和文症例報告	11		坂井建雄 (監修): 運動・からだ図解 細胞生物学の基本. マイナビ出版, 2024 Aug. 240 pp.	–	
区分	番号	–	発表者名,発表タイトル (題目・演題・課題等) ,学会名,場所,発表年月日等	DOI	国際共同
国内学会発表	1		坂井建雄: 緒方洪庵訳『人身窮理学小解』と19世紀までの東西の解剖学・生理学. 第125回日本医史学会総会. 水戸, 2024.9.14-15.		
国内学会発表	2		土屋江里子, 坂井建雄: 1832年解剖法成立の経緯. 第125回日本医史学会総会. 水戸, 2024.9.14-15.		
国内学会発表	3		根木翼, 坂井建雄: 血液学はいかに生まれ、進化してきたか ―検査技術の発展からの影響―. 第125回日本医史学会総会. 水戸, 2024.9.14-15.		
国内学会発表	4		澤井直, 順天堂第 3 代堂主 佐藤進の水戸光圀評伝について, 第125回日本医史学会総会. 水戸, 2024.9.14-15		
区分	番号	–	講演者名, 講演タイトル, 学会名, 場所, 発表年月日等	DOI	国際共同
特別講演・招待講演	1		坂井建雄: コミュニケーション・ツールとしての解剖学用語―その歴史と現状. 第129回日本解剖学会総会. 那覇, 2024.3.21-23.		
特別講演・招待講演	2		坂井建雄: 『解体新書』は私たちに何をもたらしたか―世の東西の医の歴史から. 『解体新書』出版250年記念講演会, 小浜, 2024.7.28.		